

【Ibaraki Scouting News の発行について】

指導者の皆様、日頃よりスカウト運動の発展のためご尽力いただきありがとうございます。第18回日本スカウトジャンボリーも間近に迫ってまいりました。新型コロナウイルスに関しましては、第7波といわれる感染拡大状況にあります。現在のところ国・県からは「新たな行動制限は行わない」との発信がされています。スカウト活動については、十分な感染対策をとりつつ、安全に留意して進めてください。

さて、茨城県連盟では団・隊の指導者に県連盟の最新の情報を早くお伝えするとともに、スカウト運動に関する最新の動き(AIS、SDGs、セーフ・フロム・ハーム等)をお知らせするため、「Ibaraki Scouting News」を発行することといたしました。今後、隔月で全団メーリングリストにて配信いたしますので、団委員・隊指導者の皆様にお配りください。よろしくお願いたします。

I 8・9月の連盟・日本連盟事業 ※会議等は除く

月 日	名 称	主 催	内 容
8/5(金) ～10(水)	第18回日本スカウト ジャンボリー	日本連盟	場所：高萩SF 対象：BS・VS
9/4(日)	WB 研修所スカウトコ ースを100%楽しむ	指導者養成 委員会	場所：土浦市青少年の家 対象：WB研修所スカウトコース参加予定者 内容：参加者を支援するための研修です
9/11(日)	第72回ボーイスカウ ト講習会	指導者養成 委員会	場所：青少年会館 対象：指導者、保護者、一般の方 内容：教育の原理と基本的な方法を知る講習会
9/17(土)	ハイキング研究会・基 本	指導者養成 委員会	場所：旧岩間第1小学校分校 対象：隊指導者 内容：地図読み、コンパスの使い方を学びます
9/18(日)	ロープ研究会・基本	指導者養成 委員会	場所：高萩スカウトフィールド 対象：隊指導者 内容：初級・2級・角しばり・筋交いしばり
9/19(月)	野営法研究会・基本	指導者養成 委員会	場所：旧岩間第1小学校分校 対象：隊指導者 内容：BSの基本である野外活動を体験します
9/19(月)	スカウトの日 ～プラごみバスター ズ大作戦～	日本連盟	場所：各団所在地ほか 対象：全団 内容：プラごみ問題の学習とプラごみの回収 https://plagomi.scout.or.jp/

II 事務局からのお知らせ

(1) IB-グランプリ 2022 (3月開催) に関するキット販売について

3月19日(日)開催予定のIB-グランプリ2022に向けて、各隊でレースカーの作成が今後始まると思います。レースカー用のキットについては、県連事務局で販売しています。18NSJの準備等で事務局が多忙となっていますので、注文する場合は、1ヶ月程余裕をもってご注文ください。

車軸セット	100 円	車軸(2)・車軸用スリーブ(2)・ワッシャー(4)
車軸・タイヤセット	400 円	上記にタイヤ(4)

※キットの申し込みは、隊 (BVS、CS) 毎にお願いします。

申込は県連盟HP「IB-GP2022 インフォメーション」にあるエクセルファイルでお願いします。

Ⅲ コミッショナーからのお知らせ

(1) セーフ・フロム・ハーム (SfH) セミナー実践編の開催について

セーフ・フロム・ハーム研修については、登録時のeラーニング、地区でのセーフ・フロム・ハームセミナー基本編をすべての指導者が受講することとなっています。セーフ・フロム・ハームセミナー実践編は、SfHの基礎知識を身につけた指導者を対象に、事例研究をもとに問題発生時の対応を学ぶセミナーです。ぜひご参加ください。

日 時 2022年10月2日(日)
場 所 青少年会館大研修室
主任講師 宮田俊晴(日本連盟リーダートレーナー、元日本連盟SfH・安全委員会副委員長)

(2) 毎月第1土日は指導者研修の日

県連盟ではコミッショナーが主導して、指導者の資質とスキルの向上を目指し指導者研修の充実を進めています。その一環として、毎月第1土日は指導者研修の日として、「指導者のつどい」等を開催しているところです。指導者研修の日は、共通の研修日を設けることで、団・隊の活動計画と調整を行い、県連盟の研修だけでなく、団・地区の研修日として、指導者が身近で研修を受ける機会を確保することを目指しています。ご協力、よろしくお願いいたします。

Ⅳ 各種委員会よりのお知らせ

(1) プログラム委員会

① 全国スカウトフォーラムについて

ア. 行事名 第24回全国スカウトフォーラム
イ. 期 間 2022年12月24日(土)～26日(月) 2泊3日間
ウ. 会 場 川崎市青少年の家 神奈川県川崎市宮前区宮崎105-1
エ. テーマ 「新しい100年に向けてスカウトは何をすべきか」

第1回シニアスカウトフォーラムで『より良い社会を目指して、スカウトは何をすべきか』について討議されたことから、「スカウトの日」は始まりました。100周年を迎えるこの年に、私たちが継続して取り組む奉仕や地域貢献の形について考え、これから始まる新しい100年のスカウト奉仕の在り方について考えることをフォーラムの目的として開催します。

オ. 県連盟のスケジュール

9月・10月 地区フォーラムの開催
10月15日(日) 県連盟スカウトフォーラムの開催
県連盟としての採択文、代表の決定

(2) 総務委員会

① 団委員長セミナーを開催しました

6月26日(日)に団委員長セミナーを開催しました。15団から18名の参加がありました。「組

織の維持拡大」をテーマに、講演を2つ（「組織維持拡大の成功事例」・「中途退団をなくすために」）を行い、その後、グループ討議で、各団の問題点を抽出して、「組織の維持拡大」のために何をすべきか、を話し合いました。意見交換では、申し込み時に要望のあったテーマをいくつか取り上げ、情報交換を行いました。

問題点は各団とも共通しており、「指導者不足・高齢化」、「魅力ある活動が発信できていない」、「部活・習い事との共存がうまくできていない」などがあげられました。解決策として、「HPの活用（こまめに更新）」、「地域イベントへの積極的な参加」、「ママ友ネットワークの活用」、「団内コミュニケーションの活性化」などがあげられました。組織を維持・拡大している団は、やはり、いろいろ努力して活動していることが共有できたと思われまます。悩んでいないで、今すぐ活動すべきである、と痛感しました。

参加者からは、「実際は、隊指導者が足りない場合、さらに隊活動の支援のためには、積極的に（団が）関与することが、大切だと思います。また、そのように関与することが頻繁にあったほうが隊の状況を把握できて、支援も出来ることと思います。もちろん、隊指導者への指導に対して、妨げることはないように、細心の注意はせねばならないと思います。」などの意見が寄せられました。

(3) 指導者養成委員会 ～WB研修所スカウトコースの参加申し込みについて～

10月7日（金）～10日（月・祝）の期間で開催されるWB研修所スカウトコース茨城第6期の申し込みについては、以下のようになっています。

① 課題研修を行う【必須】

- ・まず課題研修に取り組みます。世界スカウト機構発行資料「スカウト教育法（2019 対訳版）」、「日本連盟規程集」（最新の年度版）、「スカウティング・フォア・ボーイズ」を用意します。
- ・指定された部分を熟読し、先輩指導者、コミッショナー、トレーナー等に指導を受け、指導された内容をまとめます。

課題研修等ダウンロード <https://www.scout.or.jp/member/download-2/training/>

② スキルトレーニングの認定を受ける【必須】

- ・ロープワーク、地図とコンパス、刃物の取り扱い、野営技能について、スキルトレーニングを行い、トレーナーの認定を受けます。「使える」「できる」になることが目的です。

③ 地区が開催する事前トレーニングを受講する【必須】

- ・事前トレーニングはコミッショナーが主催し開催します。①②を兼ねる場合もあります。

④ WB研修所参加者のための100%楽しむ講座を受講する【任意】

- ・研修所で必要となる心構えや技能を再確認する講座です。初めての方はぜひご参加ください。

⑤ 地区コミッショナーに書類を送付する

- ・申込書と課題研修・まとめ用紙、健康調査票を地区コミッショナーに送付します

⑥ 参加許可が届く

- ・県連盟指導者養成委員会から「参加許可証」が届きます。

⑦ 参加する

- ・さあ、いよいよWB研修所スカウトコースが始まります。研修を楽しんでください。そして、スカウトのためにしっかり学んでください。

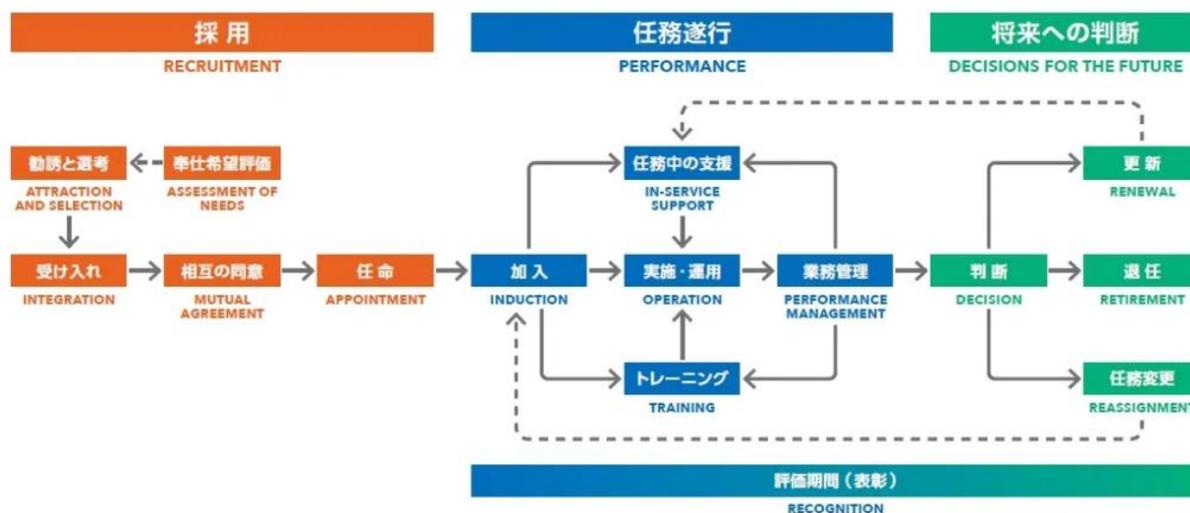
AIS(Adults in Scouting)とは

A I S (Adults in Scouting) とは、2011 年第 39 回世界スカウト会議決議第 11 号で採択された、スカウト運動に参加する成人の募集、維持、訓練、個人的成長および管理に関する方針のことです。「スカウト運動における成人に関する世界方針」(A I S) と呼ばれます。

AIS ポリシーでは「スカウトの教育、成長のためには成人の関わりが不可欠である」として、スカウトとの関わり方を示すだけでなく、スカウトが活動を通じて成長することに成人が寄与するためには、関わる成人にはさまざまな研修が必須であり、特に「スカウティングに関わることによって、成人自身がさらに成長することも必要である」としています。つまり、スカウトのみならず指導者自身の成長を促し、ともに成長することがスカウティングの本質であるとしています。

■ 成人のライフサイクル

WOSM は AIS ポリシーの中で下図のような「成人ライフサイクル」を明示しています。これは、スカウティングに関わるすべての成人が、この運動に関するすべての段階において、その役務および任務の遂行に対して支援を受け、それぞれに必要な知識や技能を習得することで成長し、その能力がスカウト運動に十分に発揮できるよう体系的に明示されたものです。このライフサイクルにより、個人の能力をさらに向上させ、適切な機会を活用できるように推進していきます。



■ トレーニング

実際には成人のライフサイクルにおいて、「イン・サービス・サポート（任務中の支援）」や「トレーニング」を受けることで任務を遂行していきますが、それら双方において自己研修の必要があります。普段から自己研修を行うようにし、トレーニングに参加した後に不足している部分を補完したり、他者から支援を受けたりするなど、たゆまぬ自己研修が自分自身の成長とともに、スカウトを成長へと導いていきます。

■ 団の支援

指導者を任命し、適切な「任務中の支援」を行うのは団の責任です。団内の指導者の研修歴を把握し、必要な研修への参加を促したり、団内で研修を行ったり、必要に応じて地区や県連盟に支援を要請したりするのは団委員長の仕事です。よりよい指導者の獲得・育成が団の発展につながります。県連盟では年間をとおして各種研修を実施していますので、まずはそこへの参加を勧めてください。